



池島魂



教育目標 「愛顔でより良い未来に向かって努力する子供の育成」 文責：校長



「長崎っ子の心を見つめる教育週間」

☆ 道徳授業参観（6/21） ☆



19年前（平成15年）の7月1日、長崎市で中学生が幼児を殺害する事件「駿ちゃん事件」が起こりました。この痛ましい事件を受けて、長崎県では「長崎っ子の心を見つめる教育週間」が設けられました。5月から7月の間の各学校が設定した1週間を「命の大切さ」や「人を思いやることの大切さ」を学校・家庭・地域が一体となって普段以上に意識して育てていくこととしています。

池島小中では、6月21日（火）に「道徳の授業参観」と「校長講話」を行いました。授業の内容や資料等を紹介いたします。

○小学生道徳 「うちにあかちゃんがうまれてくるの」

～あなたはすごい力で生まれてきた～

「うち」に生まれるあかちゃん・・・、家族みんなで迎えるあかちゃん・・・、妊娠から出産までのお母さんや家族の様子を描いた写真入りの本の読み聞かせを通して、「だれもが家族の愛情の中から生まれてくること」、「自分の命も自分の周りの人たちの命もそんな愛情を注がれながら生まれ育っていること」を学びました。



○中学生道徳 「あふれる愛」

～マザー・テレサの考え方や言動を通して～

「愛とはなにか?」・・・、連日のように、数十人もの人々が路上で死を迎えるスラム街で、どんな状況であろうと目の前の命を救おうとするマザー・テレサ、彼女の言動の底にある深い人間愛を通して、命の尊さについて考えました。



「長崎っ子の心を見つめる教育週間」

「^{とな}平和」を唱えるだけでなく、

☆校長講話☆

自分の言葉や行動で「^{ことば}平和(愛顔)^{こうどう}」をつくりだせる人に

「平和」と「戦争」について下のような話をしました。

☆世界の「平和」とは、命が^{かがや}輝く
人々が^{たす}助け合える
みんな^{えがお}笑顔で生活できる

★世界の「戦争」とは、命が^{うば}奪われる
人々が^{あらし}争い合う

^{あんしん}安心して生活できない

ことですが、どちらも「人がつくりだしていること」です。



私たちの身近なところに、「平和」や「戦争」はありませんか？

☆身近な「平和」：人を愛顔えがおにする言葉や行い

○あいさつ ○返事 ○時間を守る

○話をまっすぐ聞く ○^{いっしょうけんめい}一生懸命

★身近な「戦争」：人をいやな気持ちにする言葉や行い

△いやなことをする △いやなことを言う

△自分勝手(じぶんかって)

学校は、勉強ができるようになるためだけにあるのではありません。学校は、いろいろな勉強を通して「平和(人を愛顔にする)」をつくり出す術(すべ)(^{げんどう}考え方、言動の仕方)を身に付けるためにあります。

池島っ子には、チーム池島の仲間たちといっしょに、もっともっと「平和(愛顔えがお)」をつくりだせる人になってほしいです。

え が お
愛顔

「周りの人たちをまきこみ
幸せにする**笑顔や行い**」



